

ME 養成講座後の感想

受講生の感想文について、今後の講義内容、時期、期間などを知るため分析を行った。

(お礼や感想等の記述は省略した。)

感想 A	分析
<p>ME 養成講座を終えて</p> <p>ME 養成講座を受講し、各方面の先生方に講義いただき、新たな知識が得られるとともに、ME の目指すべきもの等について再認識し、今後の業務における姿勢が少し変わったような気がしております。また、26 名のメンテナンスに対する同じ目標を持った方々とともに、受講でき、親睦を深められたことは非常に良い経験となりました。</p> <p>講義については、岐阜県の ME 養成講座は、集中した 20 日間に対し、愛媛県は 2 か月で、5 日×2 回の 10 日間でありましたが、通常業務等があり、なかなか岐阜県と同様の場合には出席が困難と思われましたので、よかったですと思いました。</p> <p>日数が短かった分については、ME となれた場合には、フォローアップ等により補ってあげれば良いと思いました。</p> <p>内容については、限られた時間の中ではありますが、フィールドワークを増やしていただき、舗装等その他施設についても現場で体で感じる機会があればよかったですのではないかと思います。</p> <p>今回、愛媛県で第 1 回目の ME 養成講座でありましたが、この経験を活かし、今後においても、参加者（受講者）と連携を図り、情報共有を行うなど、今後の業務等に生かしていきたいと思えます。</p>	<p>(お礼)</p> <p>期間：適当</p>
感想 B	分析
	(お礼)
感想 C	分析
	(お礼)
感想 D	分析
	(お礼)
感想 E	分析
<p>ME 養成講座を終えて</p> <p>講座全般を通じて内容が豊富でしたので、期間的に 3 週間は必要かと感じました。自分の経験的にも、連続 3 週間の研修もありましたので、通常業務的にも可能かと思えます。</p> <p>あと、ガイダンスの中でもう 1 つのねらいとして、人的ネットワークの形成とありました。自治体、建設業、コンサルタントの民間、各ジャンルが集まって本講座を受講することにより、人のつながりという、貴重な経験を得ることができたと思えます。</p> <p>最後に、今回得た知識をもとに、社会基盤の構造物の長寿命化をふまえて、今後の業務に反映していきたいと思えます。</p>	<p>(お礼)</p> <p>期間：延長 (3 週間)</p>
感想 F	分析
<p>ME 養成講座を終えて</p> <p>メンテナンスエキスパートという言葉は重たく、メンテナンスエンジニアでいいのではないかと感じていました。経験したことのない分野もあり、無知を知ることはできましたがとりあえず記憶には残りました。日常業務では新設工事ばかりで維持管理力を発揮する機会は少ないですが、現地踏査時に「水・空気・日光」を意識してメンテナンスを意識した新設工事の積算業務を行うことでエキスパートに近づけるよう努力していきます。</p> <p>今後の社会基盤 ME 講座のため、講座について自分の意見を述べさせていただきます。</p> <p>1. 期間・時期・スケジュール</p> <p>時期は、10 月、11 月がよいと思えます。年 2 回開催なら、4 月・5 月も追加で。</p> <p>平日 5 日間+2 週間の空き+平日 5 日間は良かったです。今後増えるのであれば、9 月から平日 5 日間+2 週間の空き+平日 5 日間+2 週間の空き+平日 0 日間がよいと思えます。</p>	<p>(お礼)</p>

<p>2.テーマ 点検業務はトンネル等とありますので、トンネルは5コマ(1日)と増やしたいです。 国家財政・コンプライアンス・土壌汚染を1時間ずつ追加。 技術者倫理は1コマに増加。ケーススタディの増加。</p> <p>3.宿泊体制 最初の2日、月・火は宿泊義務で6コマ目を追加。</p> <p>4.座席 毎日席替えを行う。朝一のくじ引きで席番号決定。いろんな人と班が組めるため。</p> <p>5.質問タイム 講義は5~10分前に修了し、質疑時間を設ける。挙手がない場合は指名で。寝ていた人への助け舟で「〇〇先生は、△△のプロですので、△△全般についての質問でも良いです」ということで。質問することは難しく、質疑者の技能が解ります。</p> <p>6..班発表と採点 班発表は6班全部でなく、2班くじ引き発表で質疑応答を充実。発表内容や質疑についての採点表を追加。採点は「Ⅰ・Ⅱa・Ⅱb・Ⅲ・Ⅳ」で。班で討議するとき、大学院生を入れる。</p>	<p>期間：適 当 時期の提 案</p> <p>カリキュ ラムの充 実を</p>
--	--

感想 G	分析
	(お礼)

感想 H	分析
	(お礼)

感想 I	分析
	(お礼)

感想 J	分析
<p>ME養成講座に参加させて頂いて</p> <p>要望（次年度へのスキルアップへ向けての方策）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期 初年度の開催でもあり、準備にお時間を要したかと思われませんが、許されるのであれば、もう少し早い時期（夏から秋）に開催して頂けると、実務上ありがたいです。（この時期は既に繁忙期に入り、バタバタとしているのが正直なところです） ・講義時間（コマ数） 愛媛大学の先生をはじめとする著名な方々が講師であり、普段の実務では受講する事ができない非常に有意義で貴重な講義でした。そのため、もっと講義をして頂きたいという気持ちが強く、より講義時間があれば理解が深まるかと思いました。手探り状態での初年度開催ということで、講義スケジュールも2週間に落ち着いたところかと思われませんが、MEという広範囲に渡る分野のため、次年度以降は岐阜大学同様に1ヶ月程度の講義が必要かと思われまます。実務上、1ヶ月も開催すれば受講生が来ないのでは無いかとの意見もあり、2週間になった事もお伺いしましたが、実際に受講してみても、その価値は充分以上にあると感じました。先生方のご負担が増えることになり、ご迷惑をお掛け致しますが、次年度以降、講義時間延長のご検討もお願い致します。 	<p>(お礼)</p> <p>実施時期 を前倒し で 期間：延 長（1カ 月）</p>

感想 K	分析
	(お礼)

感想 L	分析
	(お礼)

感想 M	分析
	(お礼)

感想 N	分析
	(お礼)

感想 O	分析
	(お礼)

感想 P	分析
ME 養成講座を受講した感想	(お礼)
<p>受講に際して気づいた点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10 月～11 月で 2 週間業務を離れるのは厳しい。(受講のため土日も出勤しないといけなかった) ・ 1 科目 90 分は、集中力がもたない。途中で 5 分の休憩だけでもとってもらいたかった。 ・ 親睦会の計画があること事前に知りたかった。 (1 回目の親睦会は予定を入れてしまっていたので参加できなかった。残念) 	<p>期間：実施 時期の検討 を 休憩時間の 設定 詳細の事前 通知を</p>

感想 Q	分析
ME 養成講座を終えて	(お礼)
<p>ただ今回フィールドワークが少ないように感じました。講義でとりあげていただいたインフラすべてについて、フィールドワークを行いたかったと思います。舗装の維持管理について興味があったのですが、今回講義のみで、フィールドワークがなかったのが残念です。</p> <p>養成講座の期間については、フィールドワークの時間を増やして 3 週間は必要になるのではと思います。</p> <p>最後に ME 養成講座の皆様には様々なご指導をいただきここに深く感謝いたします。</p>	<p>期間：延 長 (3 週 間) フィール ドワーク の充実を</p>

感想 R	分析
ME 養成講座を終えて	(お礼)
<p>講義については、専門外の分野でも初心者にも優しく、プロでも飽きない内容でよかったように思います。ただ、2 週間という期間に詰め込んでしまうのは難しく感じ、エキスパートを育てるにはやはり岐阜で採用しているように 4 週間は必要だと感じました。</p>	<p>期間：延 長 (4 週 間)</p>

感想 S	分析
ME 養成講座を終えて	(お礼)
<p>[ME 養成講座の内容についての感想]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期の講義の中で、特に行政の講師であるが、行政の事業内容の紹介がメインとなっている講義があった。ME 養成講座は、一般の講習会とは違い、土木構造物の維持管理に関し、各分野の点検技術や維持管理のポイントなどを学ぶことが必要であると考えるので、ホームページやパンフレットで学べるような内容は極力少なくしていただき、実際のメンテナンスの事例や点検時の留意事項、実際に起きた損傷事例などを示していただければと思う。 ・ 今回の ME 養成講座は、2 週間、10 日間×5 コマの時間割であるため仕方がないかもしれない 	

<p>が、多くの講師の方がおっしゃっているように、まずは自分で考えることも重要であると思うので、講義は一方的な情報提供ではなく、一緒に考えるような内容もあれば、さらに理解度が増すと思う。ME 養成講座として、メンテナンスの技術を高めるためには、まずは少しでも多くの事例を見る必要があると思うので、講座の期間を延ばしてでも、知識を増やすことと併せて、経験を増やせるような講義を追加してもいいのではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回さまざまなフィールドワークに参加したが、特に後期のフィールドワークでは、経験が豊かな講師の方に点検のポイントや点検時の留意事項等を教えていただき、大変参考になった。やはり、メンテナンス技術を学ぶには、現場が最適であると思うので、講座の期間を延ばしてでもフィールドワークの時間を増やしてはどうか。 ・今回は道路のフィールドワークしかなかったので、河川堤防や自然斜面のフィールドワークを追加できればさらに充実すると思う。特に、愛媛県は、全国的にも土砂災害が多い地域であるので、急傾斜地や土石流危険渓流などを題材として、何が原因で土砂災害が起きるのか、これら自然斜面を調査する際にはどういった点を重点的に調査すべきであるかを実際の現場で学べれば非常に勉強になると思う。 ・今回の講義では、あまり打音検査用のハンマーを使用しなかったので、機会があれば、ボルトの締め方の違いによる打音の聞き分け方などを体験してみたい。 ・今回の講座は、間に2週間を空けた、前期・後期それぞれ1週間ずつの講義期間であったが、やはり短かったと思う。特に、後期の講座は、河川堤防から自然斜面、擁壁、舗装、洪水、地震・津波など他分野の講義が多かったため、どの分野も講義の時間が短く、資料内容を十分講義できず、概要的な部分で終わった講義が多かった。前期の橋梁の維持管理ように、もう少し各分野の講義時間を長くした方が内容を把握しやすいと思う。 ・後期の演習で少しだけ講義があった『技術者倫理』の講義は、1 コマ分ぐらい時間を確保してもいいと思う。『技術者倫理』は、技術者として一番重要な部分であるが、あまり他人と議論する機会がないこと、また、行政と民間企業ではまったく違った考え方になることも有るような内容であるので、『技術者倫理』について、多くの方と議論することや違う分野の方の意見を聞くことは、大変勉強になると思う。 ・今回のME 養成講座のように2週間程度の期間であれば、連続講義でも構わないと思うが、期間を長くし、岐阜大学のME 養成講座のような3～4週間の講座期間にするのであれば、やはり間に1～2週間開けてもらった方が、多くの方が参加しやすいと思う。連続して1ヶ月も職場を開けるのは、職場が遠い方には厳しいと思う。 	<p>期間：延長 (3週間) フィールドワークの充実を</p>
---	---

感想 T	分析
	(お礼)

感想 U	分析
<p>ME 養成講座を終えて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義内容・カリキュラムについては、10月・11月講義、12月試験という流れであるが、7月・8月講義 → 9月試験 or 8月・9月講義 → 10月試験の方が取組しやすいのではないかと感じた。12月（年末の時期）になると、発注工事の精算業務や、来年度の当初予算要望があり、時期的に、多忙な時期のため、残業しつつ、試験勉強に取り組むことになるので、7月8月ぐらいにスタートするのがいいのではないかと感じた。 私個人的には、1週1週分けて講義はよかったです。さすがに2週間も開けると、発注工事の現場対応が難しくなるので、このままでいいのではないかと思います。 産官学一体となった講座ですので、様々な人と関わりを持ち、知識を共有できる。人とのつながりメンテナンス業界とのつながりが宝となりとてもいい経験をさせてもらいました。 	<p>(お礼) 実施時期を前倒して</p>

感想 V	分析
	(お礼)

感想 W	分析
	(お礼)

感想 X	分析
<p>要望 今回の講座は、道路、河川、上下水道に関するカリキュラム構成でした。地方自治体が管理するインフラには、港湾、漁港、農林道といったものもあります。特に海に関する構造物は、環境的にも</p>	(お礼)

<p>劣化が著しくメンテナンス費用も掛かります。できれば、この講座に港湾や漁港の分野も取り入れていただきたいです。また、MEの認定者のアフター講座として各分野の維持管理に関する実践的な講座も開いていただきたいです。 よろしくをお願いします。</p>	<p>講義分野の追加 継続学習の提案</p>
--	---

<p>感想 Y</p>	<p>分析</p>
<p>ME 養成講座を終えて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の時の手、足、背筋を気にするようになりました。 1日 5回 (5 時限)、2 週間続けたのがよかったような気がします。 ・グループ討議や、ワークショップでの人の意見を聞く。それを発表するのは斬新でした。いい勉強 (普段、人の話を聞いているようで、全然理解していない) になりました。 ・レポートを書くのに時間がかかりました。会社が近いため、講義後は会社に戻り、少し残務処理をしてレポートをしていました。レポートは復習になるので、いいことではありますが、きつかったです。 ・講義の最後は、5~10 分でもいいので、今日の振り返りの時間をとればよかったような気がします。講義の感想などを何名かに話してもらって、終了。(きつかった、良く理解できたなど) 前期のワークショップのような終わり方の方が一体感が出るのではないのでしょうか。 	<p>振り返り時間の設定を</p>

<p>感想 Z</p>	<p>分析</p>
	<p>(お礼)</p>

以上